

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～28℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の40%（前年を下回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり114kgの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり1.9トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり72kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、マアジなどが1日1統当たり532kgの水揚げ。北松生月地区では、サワラなどが1日1統当たり3.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、アジなどが1日1統当たり394kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり71kgの水揚げ。
- トビウオ船曳――北松生月地区では、小トビ主体で1日1統当たり334kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/5～9/10）6日間の沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣り船 3日延24隻入港、総計2,302箱、1航海最高220箱、平均95.9箱、ケンサキ（2立～4立入）2,302箱。

（漁業情報サービスセンターより）